

## 8-4-30 政策・事業評価専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 活動目標

当専門委員会は、主に道路系・河川系の計画系業務に関連する政策や事業評価に関する内容を取扱うものとし、セミナー等の企画・開催、各種政策の最新動向把握や事業評価制度の検討、政策が展開されている現地の踏査・研究を通じ、協会員や委員の実務的技術習得と技術水準の向上を目的としている。

#### (2) 専門委員会の開催

- a) 専門委員会の開催回数:5回(WGは適宜開催)
- b) 3つのWGによる活動
- c) セミナー1回、委員会内現地視察2回、委員会内の勉強会1回実施

#### (3) セミナーWG活動

河川、道路分野を中心に事業評価や政策評価に関わる最新動向を収集・整理し本委員会の場での情報提供とセミナーの企画・開催を行った。

- a) 令和6年セミナーテーマ:「災害に備えた都市政策におけるコンサルタントの役割 ～交通と流域マネジメントの観点から～」(講師2名の講演)

- ① 災害時への活用を想定したシミュレーションとモニタリング(早稲田大学理工学術院 創造理工学部社会環境工学科 佐々木 邦明 教授)
- ② 「水災害軽減のための河川流域マネジメント工学」(京都大学大学院経営管理研究部 工学研究科都市社会工学専攻兼任 市川 温 教授)
- b) 開催日時:12月16日(月)13:30~16:40
- c) 会場:Web開催(講師と事務局は外部会議室)
- d) 参加者数:186名(事前申し込みは233名)

また、本セミナーの動画については、編集後にCPD推進専門委員会へ提出した。

#### (4) 政策評価WG活動

本年度の現地視察は、令和5年度に実施できなかった宇都宮LRTの視察を5月に実施するとともに、「ウォークアブルなまちづくり」、「公共インフラ施設のネーミングライツ」、「自動運転

の取組みを有する仙台市を選定し、10月に現地視察を行った(委員会内有志)。

#### (5) 事業評価制度WG活動

今年度は下記5項目に関する動向把握調査を中心に各地整の事業評価監視委員会の開催動向、整備効果の内容に関する結果をとりまとめた。

また自動運転社会の実現をテーマに、NEXCO東日本ITS推進課長の市川氏を招いて委員会内の勉強会を実施し、協会ホームページに報告書をアップした。

- a) 事業評価手法に関する調査
- b) 事業評価に関する勉強会の企画検討
- c) 事業評価制度に関する動向把握
- d) 整備効果に関わる動向調査
- e) DXに関する先進事例調査

### 2. 次年度の活動について

セミナーWGは、政策・事業評価等に関する最新情報・話題等を基に、道路分野、河川・港湾分野を中心としたセミナーの企画・開催を行う。

また、それら分野に係る政策・事業評価に関する最新の話題・トピック等の情報を幅広く収集し、委員会の場で共有する。なお、来年度のセミナーは河川系のテーマを中心とした実施を想定している。

政策評価WGは、将来的にコンサル業務となりうる可能性のある新たな施策や先進的な取組み事例を調査し、現地視察を企画している。特に国土交通省の動きに着目し、注目すべき施策(WISENET2050、脱炭素、スマートシティや新たなモビリティ、ライドシェア、グリーン社会など)を選定し、それら施策について現地視察(遠方や日帰り圏)を念頭においた詳細の情報収集・整理を実施する。

事業評価WGは、引き続き、事業評価制度や事業評価関連マニュアルに関する調査、全国各地整の事業評価監視委員会の動向、各種整備効果の事例収集やDXに関する事例・動向調査等を実施するとともに、事業評価に関する勉強会の企画を行う。

(政策・事業評価専門委員会委員長 篠崎 毅)